

令和7年度 北海道博物館資料保存修復報告

高橋佳久

Key Words 博物館資料 (Museum objects)、保存 (Conservation)、修復 (Restoration)

1 本報告の意義と目的

北海道博物館では、現在19万件を超える博物館資料を有しており、この中には当館に隣接する野外博物館北海道開拓の村で展示されている資料が含まれている。これらは、収集した時点ですでに破損しているもの、屋外・半屋外で40年近く露出展示され、経年変化が進んでいるものが少なくない。

このような博物館資料を今後も長期保存・活用し続けるためには、定期的に何らかの保存修復処置が求められる。本稿は、上記事情に応じて令和7年度に行った保存修復処置の概要を、将来的に再処置を行う際や材料を再検討する際の参考となるよう記録し報告するものである。

2 基本方針及び用語の定義

博物館資料の保存修復処置にあたっては、現状維持を原則とし、対象資料を管轄・研究する学芸員が展示等の活用において必要と判断した場合においてのみ、欠損部分を補うこととした。また、保存修復処置を行った部分には、将来の再処置の際に支障のない可逆性 (reversibility) を持った材料と手法を選択した。

なお、本報告における「修復」とは、(朽津 2012) を参考に、博物館資料を長期保存・活用し続けるために損なわれた状態を回復する行為 (この場合、資料が持つ本来の機能の回復までは必ずしも伴わない) を指す用語として用いる。また、博物館資料として長期保存・活用し続けるために、資料が持つ本来の機能を回復する行為を指す用語には、今後「修理」を用いることとする。

本稿のタイトルには「保存修復」という表現を用いているが、これは過去に本誌に掲載された北海道博物館資料保存修復報告との連続性及びインターネット検索上の利便性を担保するためである。

3 対象資料

飯碗 収蔵番号 110415

法量	修復前	高6.1	口径10.7
(単位: cm)	修復後	高6.1	口径10.7

(1) 資料概要

磁器、印染付。見込には手描きの下絵を呉須で内面に施す。高台には線描き文様を施す。野外博物館北海道開拓の村開村時に展示資料として製作・収集したもの。

(2) 修復前の状態

北海道開拓の村旧青山家住宅大広間で露出展示中に破損したものを回収した。資料は破損により5分割された状態であった。口縁部から見込みまで高さ方向に亀裂が生じており、今後さらに大きく破断する可能性があった。

4 修復概要

(1) 修復前の記録

デジタルカメラを用いて写真撮影を行い、修復前の情報を記録した。

(2) クリーニング

当資料を管轄する学芸員と協議し、柔らかな毛の筆、ブロワーを用いて表面の埃などを除去し、精製水をしみこませた不織布で軽くクリーニングを行った。

(3) 接合・組み立て

将来の再処置 (解体) の際に接合の可逆性を担保するため有機溶媒で溶解可能なアクリル樹脂 (パラロイドB72: パラロイドB44=1:1) の40%アセトン溶液で破断面どうしの接合を行った。また、亀裂が生じている部分は、上記溶液を塗布したことがわかるような状態で表面を強化した。接合後の欠損部は補わず、現状を維持した。

引用文献

朽津信明 2012. [報告] 日本における近世以前の修理・修復の歴史について. 保存科学 51: 111-120. 東京文化財研究所.



修復前



修復後

Hokkaido Museum Annual Conservation & Restoration Report for Fiscal 2025

TAKAHASHI Yoshihisa

This report summarizes the conservation and restoration work carried out in 2025 on one museum object from the Hokkaido Museum collection.

Our primary focus was on conservation, with the aim to preserve the object's current condition to the greatest extent possible. Missing sections were filled with new materials (restoration) only when reconstruction of the original appearance was deemed necessary for exhibition or educational use. Furthermore, all restoration work employed

reversible materials to ensure that future adjustment or removal of the treatments remains possible.

The Hokkaido Museum utilizes a variety of display environments; consequently, some treated objects are returned to outdoor or semi-outdoor environments. The treatments were therefore tailored to the specific environmental conditions of each location, even when dealing with objects composed of identical or similar materials.

